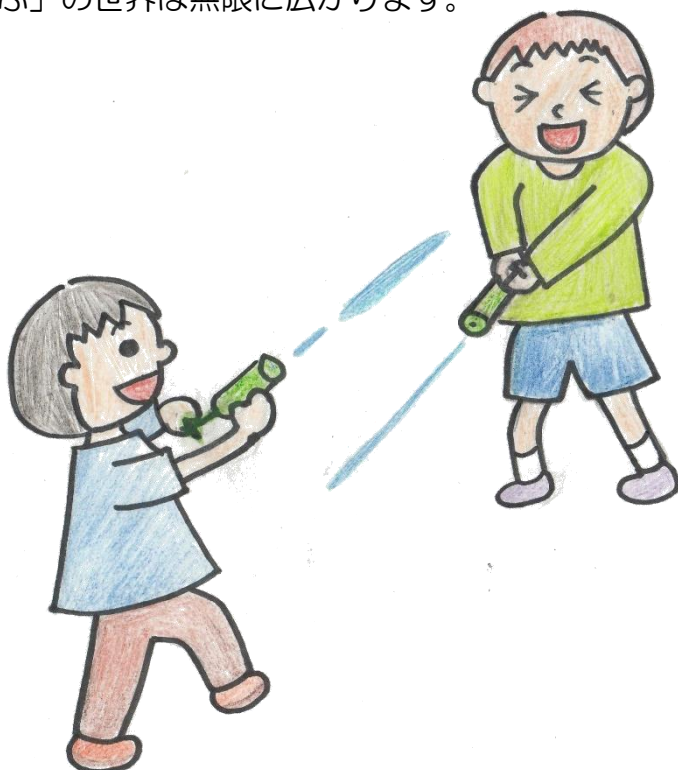


つくって遊ぶ あそびは自分で作るもの

切ったり削ったりするモノづくりの楽しさと、あそび道具やルールも自分たちで作るオリジナリティ。「つくって遊ぶ」の世界は無限に広がります。



【いろいろな伝承あそび】

竹鉄砲

竹の節を一つだけ残した竹筒を用意し、その節の真ん中に穴をあけ、竹に布を巻いた竹棒で水を吸い上げて勢いよく水を押し出して遊ぶ。節をとって中を空洞にし、スポンジを両端に入れて飛ばすのも楽しい。何を詰めれば飛ぶのか試すのも楽しい！

【検索：水鉄砲、空気鉄砲】

折り紙

折り紙は、諸説ある中、何かを包んで差し出す時の包み方が、折り紙の発生のきっかけになったと言われている。その折り紙は、飾って楽しむものもあれば、遊んで楽しむものもあり、折り紙の作品は数多くある。遊べる折り紙は、紙飛行機、ぴよんぴよんガエル、ふきごま、フーフーヨット、折り紙くじなどがある。どれも折り紙がない場合は、代用として新聞紙や包装紙、カレンダー等を利用して遊ぶことができるので、室内で活動する場合や狭い場所でのあそびに有効。

【検索：創作おりがみ、紙飛行機】

泥団子

時間をかけて泥団子を作って、その泥団子の見栄えで競うのもあり、地面に落として壊れるかどうかを競うのもありで、泥がない場合は、アルミホイルでも代用可。

【検索：光るどろだんご、土だんご、アルミホイル玉】

バランストンボ

竹や紙で作ったトンボがバランスよくとまっているのをお土産等でよく見る。竹は難しいが紙だと、型紙を印刷できるので気軽にできる。遊び方は、トンボを落とさずに競争したり、トンボを落とさないでリレーをしたりすると楽しい。

【検索：トンボやじろべえ、ゆらりトンボ】

福笑い

カレンダーの裏等に顔の輪郭を大きく描き、目や鼻、口等を作って、それを目隠しして置き、どんな顔になるか楽しむ。どんな顔になるかな？ホワイトボードに顔を描き、裏に磁石がついた鼻や口を置いてみるのも楽しいかも(笑)また描いた顔ではなく、実際の写真を使うとリアルな福笑いとなる(笑)

【検索：お多福さん】

糸電話

紙コップを二つ用意し、両方のコップの底につながった糸をつけて完成。コップの素材や糸の太さでどう伝わるのか挑戦するのも楽しい！コミュニケーションをとるあそびでも利用できる。糸の長さを30mにするとか、話す内容は暗号だけとか、糸電話をいくつつなげることができるか等楽しむ工夫も有り。

【検索：紙コップ電話】

すごろく

サイコロを投げて出た数だけコマを進める遊び。自分たちで作る場合は、「スタート」から「あがり」までのストーリーを考えて、裏紙等にマジック等で書いてオリジナルな双六を作るのも楽しみの一つ。校庭等を利用して人がコマになる「人間すごろく」もダイナミックに楽しめる。ちなみに競って遊ぶ「すごろく」ではない、仲間づくりの「すごろく☆コミュニケーション（平成28年度発行物「あそびなま」より）も試す価値あるかも。

【検索：絵すごろく、盤すごろく、すごコミ】

草笛・ドングリ笛

笹の葉、たんぼぼの茎、ほおづき等で笛を作ることができる。ドングリは、キリで2mm程の穴を空け、中をくり抜き作る。カラスノエンドウは、熟した実を切り開いて種を抜き、ヘタを切り、元の形に戻して、細い方を口に咥えて吹く。いろいろと試して音色コンテストをするのも有り。

【検索：葉笛、葉っぱ笛】

秘密基地

自然の中にあるものや身近なあるものを使って家のようなものを作る。例えば野山で竹を切って、竹の棒で骨組みを作り、つるで巻いて、笹の部分や下に敷いて作ってみる。また自然のものがなければ、ホウキの柄やブルーシート、段ボールを使って作ってみるのも有り。基地を作ったらそこで少し生活するのも有り。

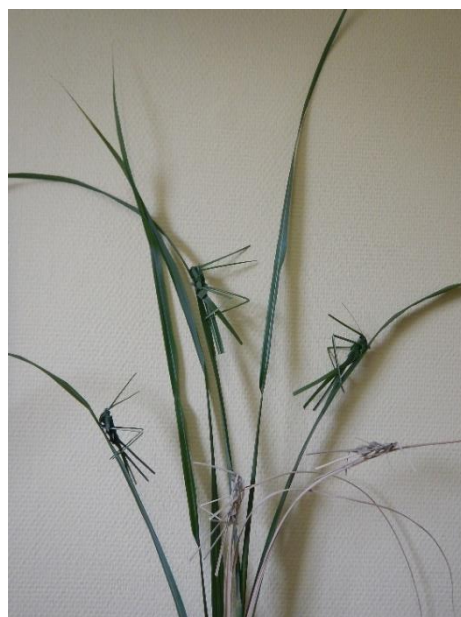
【検索：すみか作り、基地作り】

ススキのバッタ

野原や河原にあるススキの葉っぱでリアルなバッタ作りに挑戦！

ススキは道端や川の土手など、身近な場所で手に入る材料です。秋には穂をつけ、日本の秋の風景をいろいろとります。そのススキを、道具も使わずにバッタにすることができたら、子どもたちの視線をくぎづけにすること、間違いなしです。

<必要なもの> 新鮮な葉っぱ（ススキ、シュロの葉っぱ等） ※ハサミがあると扱いやすい。



<作り方>



①葉の付け根から20cm程度まで筋を残して、筋の両側を裂き、三又になったら、筋に沿って葉を折る。

★葉っぱで手を切らないように気をつける。



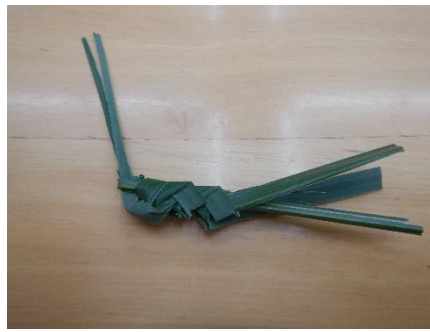
②筋の部分を裂いた付け根から5cm程度のところで筋を折り曲げる。葉の部分を筋の折り曲げた部分に絡めて折り、反対側も同じように折る。



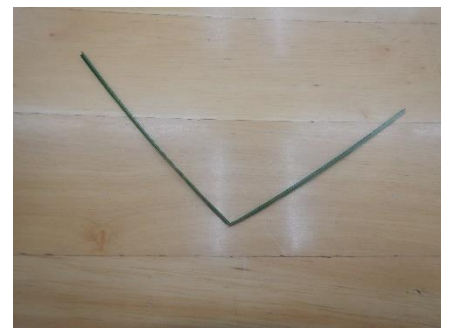
③同じように折り曲げる際に、一度折り目をつけて、折り曲げる。（2～3回程度）



④葉を折り終わったら、筋を二つ折りしている部分に空間を作り、葉を空間に入れ折り曲げると顔と触覚の部分ができる。



⑤触覚の部分を細く切り、それらしくする。また、お尻側の葉を上側に折り、バッタのサイズを見て余分な部分を切り落とす。



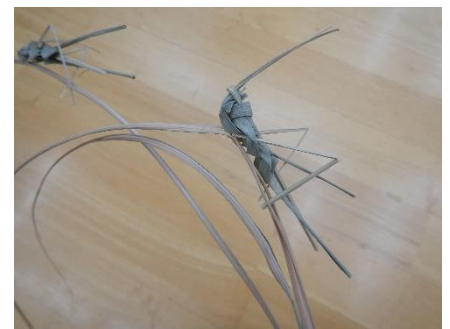
⑥次に他の葉っぱで筋だけを切り取ったものを20cm程度とり、Vの字に折る。



⑦飾りつけする他の葉に穴をあけ、二つに折った⑥を通して、バッタ本体にも通して、途中で折り曲げ、飾りつける葉に再び刺す。



⑧足を取り付けることができたなら、余分な分をカットして出来上がり。



★時間が経つと、乾燥してしまい、だいぶ痩せこけるが、ある程度原型を留めるので、そのまま飾るもよし。

<あそびワンポイント！>

葉っぱで作るバッタは、シュロの葉で作るのが一般的で、草編み玩具の一つです。草ではなくPPバンドという梱包用のロープを使って作っているものもあります。いかにリアルに作るかを競ったり、自然の中で探したりする遊びも楽しいです。しかし、作ったものを子どもたちの前に見せる時は、注意が必要です。喜んでもらえたらよいのですが、嫌がる場合もありますので、虫嫌いなど、子どもたちを嫌な気持ちにさせない配慮が必要です。

また、ススキでは他に、穂を利用してフクロウやミミズクを作ることができます。



【検索キーワード】 草バッタ PPバンドで虫づくり バッタの作り方 ススキのふくろう

トントン相撲

勝負は空き箱の上で、「はっけよーい、のこった」

紙等で作ったお相撲さんに勝負を託すあそびです。空き箱で作った土俵の上で取り組みをし、互いにトントンたたいて相手を土俵の外へ出すか、倒せば勝ち。単純なあそびですが、やり始めると意外とのめり込みます。



<必要なもの> ペットボトルのキャップ、空き箱、瞬間接着剤、竹串、キリ、綿棒等
<作り方>



①ペットボトルのキャップを三つ、瞬間接着剤でつけたり、穴を空けて串で通したりして、図のように付ける。



②空き箱の裏に土俵を描き、仕切り線をつける。



③お相撲さんの絵を描いたら出来上がり！（ちょんまげは綿棒の先を利用）

<あそびワンポイント！>

土俵作りもさることながら、お相撲さん作りに夢中になると、かなり手の込んだものができます。しかし、とり組んだ時の安定感やひっくり返りづらい体制もあるので、幼児が行う場合は、安定感のある紙コップを利用したり、トイレットペーパーやラップの芯を利用したりして作るのも工夫の一つです。さあ、どんなお相撲さんができるかチャレンジしてみましょう！



【検索キーワード】 紙相撲、紙コップ相撲、トントンお相撲さん

身近なもので工夫してつくる楽しみを！

材料や道具をそろえてつくり始める「工作」は、できあがる作品を楽しみに作りますが、いつも道具が揃う、材料がたくさんあるとは限りません。身近なもので簡単に作って、遊んだり、飾ったりできると、子どもたちとの関わりの中で、どのような場面でも活用できるものとなります。

そのような身近なもので簡単に作れる、代表的なものの一つに「折り紙」があります。チラシ広告や新聞紙等での代用もでき、1枚の紙さえあれば、いくつもの作品ができる折紙は、飾るもよし、遊ぶもよしと、昔から楽しまれてきたあそびです。このように身近なものを利用してつくるあそびをいくつかご紹介します。

	身近な材料	あそびの種類
人	新聞紙・チラシ広告・カレンダー等	折り紙、紙飛行機、紙風船、紙鉄砲、福笑い、あぶり出し、すごろく、バランストーン、チャンバラ、カブト、パラシュート、紙染め
	空き缶、ペットボトル、キャップ	缶ぽっくり、でんでんだいこ、ペットボトルロケット、トントン相撲カエル飛ばし、輪投げ、ボーリング
	割りばし	割りばし鉄砲、手作りおみくじ
工 物	紙コップ・ラップやトイレットペーパーの芯	トントン相撲、糸電話、でんでんだいこ
	紙袋、ビニール袋	凧、カブト、風船、お面
	ボール紙、段ボール	ブンブンゴマ、秘密基地作り、段ボール迷路
	ハンカチ・手袋・タオル	赤ずきんちゃん、バナナ、手袋人形、手ぬぐい金魚
自 然 材	布	お手玉、布染め
	草花	首飾り、草笛、お面作り、ススキのバッタ・ミミズク・水車、花輪染めつけ、木の葉のお面、花のお手玉、押し花、水色あそび
	木の実	どんぐり笛、やしろべえ、どんぐりゴマ
	木、つる	ばちんこ、ブーメラン、秘密基地、リース
	竹・笹	竹とんぼ、竹返し、竹馬、竹けん玉、竹笛、水鉄砲、笹舟、バランストーン、秘密基地、釣り竿
土・砂・石	泥だんご、泥器、棒倒し、お城（サンドアート）、砂あそび 石あそび（ストーンアート）	

※あそびによっては、重複して記載している場合があります。

これら身近なものを利用して、発想力豊かに、どのようなものができるのか、どのように工夫したら良いものになるのか、またどのように遊んだら楽しか、とても大切なことだと思います。

そして、試行錯誤をしながら、失敗したり成功したりすることが、子どもたちの成長にとっても大切な「まなび」となると考えます。安全に気をつけながら、まずは身近なものを手にとって、「あそび」を考えることから始めてみましょう！

イラスト
※このページにある
あそびから一つ